

学校再編ニュース

《第4号》(平成24年2月10日発行)



《発行》小樽市教育委員会(適正配置担当)

電話 0134-32-4111(内線 533)

FAX 0134-33-6608

Eメール gakkō-tekisei@city.otaru.lg.jp

市民の皆さんの理解と協力により学校再編を進めていきます

学校再編の状況についてお知らせします (平成23年11月7日以降)

今回は、昨年11月以降に開催した「塩谷・長橋地区」「高島・手宮地区」「中央・山手地区」「南小樽地区」「朝里地区」の懇談会などの状況と本年4月の量徳小の統合に向け協議している二つの統合協議会、平成25年4月の若竹小の統合に向け発足した「若竹小・桜小統合協議会」での協議内容についてお知らせします。

また、学校再編に合わせ進めている、学校施設の大規模改修の状況もお知らせします。



若竹小学校・桜小学校統合協議会が発足

平成23年11月29日に、若竹小と桜小の第1回統合協議会を開催しました(5ページを御覧ください)。

この学校再編ニュースは、市のホームページに掲載しています。

小樽市 学校再編 で クリック

塩谷・長橋地区

《教育委員会のプラン》

■ 中学校(忍路中・塩谷中・長橋中)

学校数 3校 → 統合後 **1校** 統合校の位置 長橋中

塩谷・長橋地区では、中学校の再編を先行することとし、その統合時期について話し合っています

懇談会の開催状況 平成24年1月17日 塩谷小・塩谷中合同(保護者・地域)

当初、平成23年12月20日に開催する予定でしたが、延期となり、年が明けた1月17日に開催しました。懇談会では、塩谷小・塩谷中の再編時期について話し合いました。

■ 懇談会での教育委員会からの説明内容 ■

■ 塩谷地区の小中学校の再編については、中学校の再編を先行し、塩谷中と長橋中の統合時期は、統合までの準備期間を2年間確保した平成26年4月とすることを提案しました。また、塩谷小の再編は、中学校再編の後一定の期間を置き、適正化基本計画の前期計画期間終了の平成29年度までには、話し合いに入っていきたい旨説明しました。

◆ 懇談会に参加された方からの意見など ◆

【保護者から】

- ◆ 平成26年4月に統合するのであれば、現在の小学校6年生が塩谷中に入学した場合は、受験時期の3年生で学校を移らなければならない、また、4月の中学校への進学時期も迫っており、保護者として考える余裕がなく性急すぎるので、平成26年4月の統合には反対であるとの意見がありました。
- ◆ 中学校の場合は、生徒指導などの課題も出てくるだろう、また、学習指導要領も新しくなり教員や生徒も落ち着かない状況となる心配もあるため、統合時期はもっと時間を掛けて考えてほしいとの要望がありました。

【地域から】

- ◆ 小樽の農業・漁業を支える旧塩谷村の地域から学校を全てなくすことは反対、小規模な学校でも良い環境の中での教育は可能である、また、部活動を理由にした指定校変更に対する疑問や実際に部活動を行っているか確認し、活動していない場合には指定校に戻すべきなどの意見がありました。
- ◆ 昭和48年の文部省通達のとおり、学校統合については十分に地域住民の理解と協力を得て行うべきとの意見があり、教育委員会としては、今後も機会をつくり、十分に地域の方と話し合いをしていきたい旨説明しました。



2月中には各中学校の入学説明会が行われるため、2月初めを目途に、統合時期を平成26年4月とするのか、また、延期するのか、考え方を整理し、保護者や地域に示していきたい旨教育委員会から説明し、懇談会を終了しました。

いただいた意見を踏まえて…

「平成26年4月の統合」については、塩谷小6年生の中学校への進学が迫っており、中学校の入学説明会も2月中に開催される予定であることから、生徒や保護者にとって進学を考えるための期間が短く、この統合時期をもって進めることは難しいと判断し、塩谷中と長橋中との統合時期を平成26年4月とすることについては、見送ることとしました。

統合時期などについては、引き続き、保護者や地域の皆さんと話し合っていきます。

高島・手宮地区

《教育委員会のプラン》

■小学校Aグループ（祝津小・高島小）

学校数 2校 → 統合後 **1校**

統合校の位置 高島小

■小学校Bグループ（北手宮小・手宮西小・手宮小）

学校数 3校 → 統合後 **1校**

統合校の位置 手宮西小 または 手宮小

■中学校（北山中・末広中）

学校数 2校 → 統合後 **1校**

統合校の位置 手宮西小 または 手宮小

高島・手宮地区では、小学校の再編の関連から、中学校の再編時期について話し合いをしています

懇談会の開催状況

平成23年11月17日 祝津小PTA懇談会

PTA懇談会に教育委員会が参加し、主に中学校の再編や高島小との児童交流について話し合いました。

- ◇ 教育委員会の案として、中学校の再編は、手宮西小を中学校に改修して統合校とし、手宮地区3小学校の再編との関連から、統合時期は早くても平成29年度かそれ以降になる旨説明しました。

- ◇ 教育委員会から、平成23年1月の高島小の懇談会で保護者から出された中学生の通学に関する要望などを説明し、保護者から、路線バスのルートや本数、小中学校における通学支援の内容や現行の支援に対する疑問、また、小学生が路線バスを利用した場合の安全指導などについての質問がありました。
- ◇ 教育委員会から、児童交流として9月6日に高島小で行われた演劇鑑賞に祝津小の全児童が参加したことや、来年度に向け学校間で交流内容や日程を調整し、引き続き交流を行っていききたい旨説明しました。
- ◇ 6月16日の懇談会で、保護者から小規模特認校について情報提供の要望があったため、教育委員会から、小規模特認校の制度、道内の主な都市の設置状況や学校規模などについて説明しました。また、適正化基本計画では、特定の学校を小規模特認校として存続する考えはない旨説明しました。

※ 平成24年2月10日に、祝津小・高島小合同懇談会を開催しました。
懇談会の状況については、次号でお知らせします。

中央・山手地区

《教育委員会のプラン》

■ 中学校（西陵中・菁園中・松ヶ枝中）

学校数 3校 → 統合後 **2校** 統合校の位置 菁園中・最上小

中央・山手地区の学校再編について「小樽市立西陵中学校の存続を訴える会」と意見交換を行いました

意見交換会

平成24年1月23日

- 「小樽市立西陵中学校の存続を訴える会」の要請により、教育委員会が参加し意見交換会を行いました。
- ◇ 教育委員会から、適正化基本計画の策定経緯や主旨について説明した後、一昨年6月に西陵中学校で開催した「学校再編についての地区別懇談会」で配付した資料に沿って、中央・山手地区の中学校の再編プランを中心に説明しました。
- 【「小樽市立西陵中学校の存続を訴える会」から】
- ◇ 昭和48年の文部省通達のとおり、学校統合については十分に地域住民の理解と協力を得て行うべきとの意見があり、教育委員会としては、適正化基本計画で地域住民との共通理解に触れており、十分に配慮していきたい旨説明しました。
 - ◇ 中央・山手地区の再編プランの考え方、また、中学校の統合校が既に決定されたような教育委員会の進め方について疑問の声が出され、教育委員会から、再編について合意ができた時点で実施計画を策定し統合に向け準備を進めることから、統合校は決定したものではなく本格的な協議はこれからしていくことを説明しました。
 - ◇ 少子化が進む周辺部の学校がなくなるのはやむを得ないが、市の中心部に人口が集束するようなまちづくりの観点からも西陵中の存続は必要である、また、この地区の再編後の中学校数は2校ではなく3校、一学年の学級数は3学級以上ではなく2学級以上でも良いとの意見が出され、教育委員会から、学校の構成を考えた場合の学級数と専門の教科免許を持つ教員配置、教員数の関連や、一学年2学級から3学級となった場合の教員配置増による生徒へのプラス面について説明しました。
 - ◇ この会は組織として運動しているものではなく、統一した見解があるというものでもない、また、出席者それぞれの意見を取りまとめたものでもないが、共通点は西陵中を残してほしいという点であるとの発言がありました。

南小樽地区では、若竹小の平成25年4月の統合に向け、懇談会、統合協議会で具体的な話し合いをしています

懇談会の開催状況 平成23年11月24日 若竹小（保護者・地域）

前回6月23日の懇談会以降の経過や通学路の安全対策、若竹小と桜小との統合協議会の設置について話し合いました。

■ 懇談会での教育委員会からの説明内容 ■

- 9月に実施した通学意向調査の結果や11月に行った統合校の潮見台小、桜小の施設見学会の状況などについて説明しました。
- 11月29日に桜小との統合協議会を発足させることや若竹小閉校に伴う条例改正などについて、平成24年の市議会定例会への提案に向け検討している旨説明しました。

◆ 懇談会に参加された方からの意見など ◆

- ◆ 保護者から、教育委員会提案の潮見台小へ通学する場合のスクールバス運行の対象地域や、高学年の児童も乗車対象としてほしいなどの要望があったほか、これから入学する新1年生のことを大切に考え、施設見学会などの案内をするべきとの意見がありました。教育委員会の提案では、築港地区の道営住宅付近から通学する児童の体力的な負担軽減と高速道路高架下の横断を避けるため、スクールバスの利用を考えていること、また、高学年の利用については具体的な運行ルートをシミュレーションし、対応可能か検討していく旨説明しました。
- ◆ PTA会長から、今後の懇談会の持ち方の確認と、統合協議会の委員の人選などは教育委員会で責任を持って行うべきとの意見、また、統合時に5年生になる障がいのある児童の放課後児童クラブ受入れについて質問があり、教育委員会から、障がいのある児童の受入れについて、5・6年生への拡大要望もあり、平成24年度の予算要求に向け検討している旨説明しました。



10月24日に市長に対し、PTAや町会、保育所などの連名で通学安全に関する要望書が提出され、それを受け、1月24日に教育委員会を含む5者で小樽警察署に通学路における安全確保の要望を行いました。

◆花園小学校・量徳小学校統合協議会◆ 第6回 平成24年1月30日

◇新しい学校づくりの取組◇

前回の統合協議会で決定した新しい教育目標「笑顔いっぱい！いのちかがやけ花園の子」の達成に向けた平成24年度の教育内容について、教職員部会から保護者説明会の資料を基に具体的な説明がありました。

◇安全マップ・PTA組織づくり◇

保護者部会で取り組んできた安全マップやPTA組織などについてそれぞれ報告がありました。

◇通学時の安全対策について◇

通学時の安全を確保するために、町会やボランティアの方の協力の下に取り組んで行くことが確認されました。



◆量徳小学校・潮見台小学校・若竹小学校統合協議会◆ 第7回 平成24年1月31日

◇新しい学校づくりの取組◇

平成24年4月からの新しい教育目標を「かしこく、なかよく、たくましく、はたらく子ども」と決定し、この教育目標を達成するための教育課程編成を教職員部会で引き続き検討していくことが了承されました。



◇若竹小学校との統合に向けて◇

平成25年4月の若竹小との統合に向け教職員部会で検討していく事項とそのスケジュール案が示されました。

◆若竹小学校・桜小学校統合協議会◆ 第1回 平成23年11月29日

第2回 平成24年2月3日

平成25年4月の若竹小と桜小の統合に向けた準備を進めるため、統合協議会が発足しました。協議の進め方については、既に設置されている二つの統合協議会を参考に、統合校の教育目標や通学の安全確保などについて話し合いを進めていくこと、また、第2回協議会では、教職員部会での検討スケジュールや保護者部会を立ち上げて話し合いを進めていくことなどについて確認されました。



2月3日の統合協議会の様子

☆ 統合協議会ニュースは市のホームページに掲載しています ☆

量徳小の平成24年4月の統合に向けた準備が進んでいます

◇第Ⅲ期交流事業◇

昨年11月に、3校（花園小・量徳小・潮見台小）の児童交流を行いました。量徳小児童が4月から通う花園小と潮見台小にそれぞれ分かれて行き、学年（1～5年）ごとに勉強やゲームをするなど、この春から机を並べる新しい友だちと仲良く時間を過ごしました。

【花園小】



ジャンケン列車

ばらばら漢字
合体クイズ

ドッジビー

動物あて
質問ゲーム

ペンタゴン
パズル

【潮見台小】



ジャンケン
リレー

紙の竹トンボ作り

漢字クイズ

理科室で実験

和紙の折り染めで小物入れ作り

朝里地区

《教育委員会のプラン》

■小学校（桜小・望洋台小・豊倉小・朝里小）

学校数 4校 → 統合後 **3校** 統合校の位置 桜小・望洋台小・朝里小

後期計画の朝里地区では、先行して、豊倉小の学校再編について話し合っています

懇談会の開催状況

平成23年11月25日 豊倉小PTA 懇談会

前回6月28日の懇談会で、2学期中にPTAと教育委員会との意見交換の場を設けることになっていたことから、PTAが集まる会議後に話し合いました。

- ◇ 教育委員会から、豊倉小と隣接校の望洋台小や朝里小における平成24年度以降の入学予定児童数や再編後のバス通学におけるシミュレーションなどを示して、意見交換を行いました。
- ◇ 保護者から、下校時における低学年の路線バスに対する不安の声や、路線バスの待ち時間に関する対応のほか、バス事業者への働き掛けや児童交流についての要望がありました。また、多人数の学級になじめるのか、中学校進学を考えた場合の小学校の選択に迷いがあるなどの声が聞かれました。
- ◇ 教育委員会から、統合に当たっては準備期間として2年は持ちたいことや、平成24年の豊倉小創立100周年が一つの節目として考えられることなどを説明しました。
- ◇ 6月28日の懇談会で、保護者から小規模特認校について情報提供の要望があったため、教育委員会から、小規模特認校の制度、道内の主な都市の設置状況や学校規模などについて説明しました。また、適正化基本計画では、特定の学校を小規模特認校として存続する考えはない旨説明しました。

◇学校施設の大規模改修の状況◇

■大規模改修が進む花園小・潮見台小■

【花園小】 昨年9月から工事中の、校門から校舎へ通じる坂道の改修が終了しました。新しく手すりも設置され、人と車が分けられ安全に通ることができるようになりました。



平成23年11月4日撮影



平成23年12月7日撮影



改修終了(平成24年1月19日撮影)

※花園小は、平成24年度に耐震補強工事とともに、体育館の増築や外壁などの大規模改修も行います。

【潮見台小】

和式トイレを洋式トイレに改修しました。(花園小も同様)



改修前の和式トイレ



改修後の洋式トイレ

この後の状況は「学校再編ニュース(第5号)」でお知らせします